

# GMI™ 10

## quick start manual



**GARMIN**

### GMI 10 簡易操作マニュアル Rev.A

株式会社ヘミスフィア  
(Hemisphere Inc.)

本マニュアルは、GARMIN社が発行した英文マニュアルを日本国内での使用を想定して意識しており、本機の使用目的以外に流用することを禁止します。

著作権表示

## 目次

1: 導入 .....	5
1.1 はじめに .....	6
1.2 特長 .....	6
2: インストール .....	7
2.1 本機の実付け .....	8
2.2 本機の起動 .....	9
2.3 外部デバイスとの接続 .....	9
3: GPSの概要 .....	11
3.1 GPS概要 .....	12
付録 .....	13
A: トラブルシューティング .....	14
B: 製品仕様 .....	15
C: 梱包物 .....	16
D: 取り付け用図面 .....	17
ソフトウェア使用許諾契約書 .....	29

## はじめに

- ・GMI-10は、知りたい情報を簡単な操作で素早く表示します。
- ・NMEA2000またはNMEA0183のセンサー情報を表示します。
- ・操作方法は、いたって簡単です(画面指示にしたがいソフトキー操作)。



注) 画面表示は、本来必要な各種センサー情報を表示する以外に、各種センサー情報を効率よく表示するために「階層化」された設定用の画面表示もあります。

- ・センサー情報表示画面 : 階層化された画面の最上位の画面(複数のセンサー情報を画面の切替で表示可能)
- ・各種設定画面 : 最上位画面の表示において、画面下の部分に各種設定を行うための“Menu(メニュー)”が表示されます。  
このメニューを選択することで次の階層に移行して、さまざまな設定(項目)が可能です。項目によっては更に次の階層(下位層)へ移行、というように‘より詳細な’複数の設定/選択の画面を使うことができます。

- 電源(Power)**
- ・GMI-10を電源(バッテリー)に接続すると、自動的に電源オンの状態になります。
  - ・手でオン/オフする場合は、本体右下にある電源ボタンを1秒程度押し続けます。
  - ・電源ボタンを瞬間的に押すことで、表示画面の輝度を変更(大きく3段階)できます。輝度の微調整は、ソフトキーを使用します。

### ソフトキー(Soft keys)

- ・表示画面の一番下の部分に、3つのキーの機能が表示されます。この指示にしたがって項目の選択や操作の確定などを行います。
- ・通常、3つのソフトキーの左右にあるキーは、表示画面の切替や項目を選択するために現在の選択状態(ハイライト)などを上下に移動したりするために使用します。
- ・中央のキーは、“Menu(メニュー)”の表示や選択されている項目を確定するとき等に使用します(押します)。

- バック(Back)** 選択されている表示画面が、階層化されている場合は、ひとつ上位の画面に戻ります。ただし、このボタンを長押しすると、最上位の画面まで戻ります。

## 操作方法(概要)

GMI-10Iに接続されている各種センサーの情報を表示する方法を説明します。

表示方法は、数値をデジタル表示する方法とアナログ表示する2通りの方法が選択できる項目もあります。

※表示可能な情報は、NMEA2000またはNMEA0183のいずれかを選択するかによって変わります。

例えば、GARMIN製GPS17xのようなGPSセンサーを接続すると、GMI-10は位置情報、方位(COG)、対地速度(SOG)、平均速度や最大速度などを表示することができます。

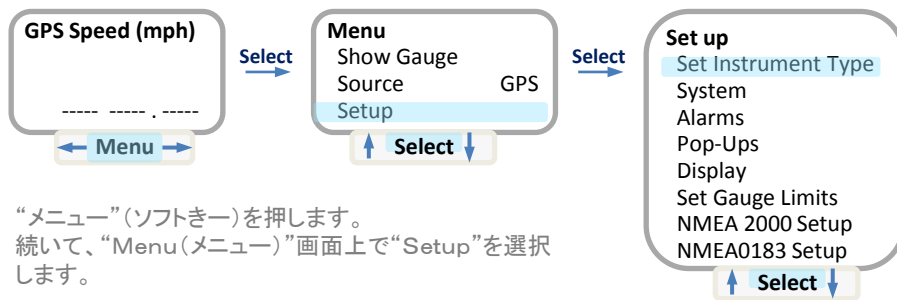
### 表示情報

表示される情報は、接続するセンサーの種類によって最適な内容が選択できるよう考慮しています。GMI-10Iは、センサーの種類によって一般的に使われるデータが表示できるように構成されていますが、実際に接続されているセンサーに合わせて表示データをカスタマイズすることができます。センサーのカテゴリ毎に様々な表示画面を用意しておりますので、まず既に登録されている画面を最初にご覧ください。

### 登録されている(カテゴリ化された)表示画面の選択

メニュー画面から、他のカテゴリ表示画面へ切り替える方法は以下の通りです。

1. 現在の画面表示から、「Menu」→「Setup」→「Set Instrument Type」の順に選択します。



2. “Set Instrument Type”画面に表示される以下のカテゴリから希望するセンサーのタイプを選択します。

- **Surface** — 速度情報、方位情報、あるいは走行距離等を表示
- **Water** — 水深、温度など
- **Fuel** — レベル、レート、範囲
- **Wind** — 風速、風向、気圧、温度など
- **Engine** — RPM, 燃料流れ、トリミング、温度、圧力、電圧、時間、中立表示、状態表示
- **Custom** — 表示内容や画面をカスタマイズします。既存の画面を流用することもできます。

## カテゴリ内の表示画面の切替

各種センサー情報を表示する場合、既にGMI-10に用意されている表示画面を利用する方法と、独自に表示画面を作成する方法があります。

いずれの場合も、複数の表示画面をまとめて用意すること(カテゴリ分類)で、左右のソフトキーを使って画面を切り替えます。



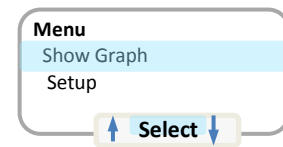
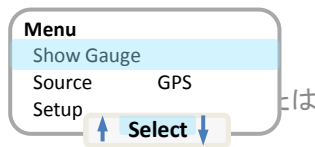
ソフトキーを使って画面切り替え

## 表示オプションの変更

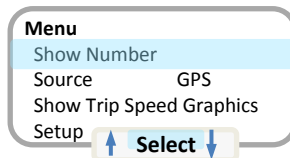
表示画面上のデータは、通常デジタル数値で示されます。  
しかし、知りたい情報をアナログ表示やグラフ表示することも可能です。

### (表示形式の変更)

- 現在の表示: デジタル表示をアナログ(ノグラフ)形式に切替  
「Menu」キーを押すと、以下の画面に移行します。  
この画面で、「Show Gauge」または「Show Graph」を選択して表示形式を変更します。



- 現在の表示形式: アナログ(ノグラフ)表示をデジタル表示形式に切替  
「Menu」->「Show Number」の順に選択して、デジタル表示画面に変更します。

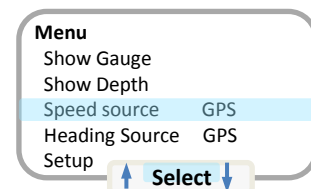


### (表示情報源の変更)

既に用意した画面上の表示の元になっているセンサーを変更することができます。

例えば、カテゴリーが“Surface”の場合は以下の操作で表示する情報源をGPSセンサーから磁気コンパスに変更できます。

1. 現在表示している画面(“Course over Ground”の場合)上で、「Menu」キーを押します。
2. 表示されたメニュー内の「(speed) Source」を選択し、“GPS Sensor”あるいは“Magnetic Compass”から表示したい情報源(センサー)を選択します。



3. 同様に、現在の表示画面上に「GPS Trip Odom」の表示がある状態で、走行距離計をリセットする操作を行う場合は、メニュー内にある項目から「Reset Odometer」を選択します。

※ 上記「Menu(メニュー)」キー押下で表示される内容は、その時選択していた画面により変化します。

## 表示画面のカスタマイズ

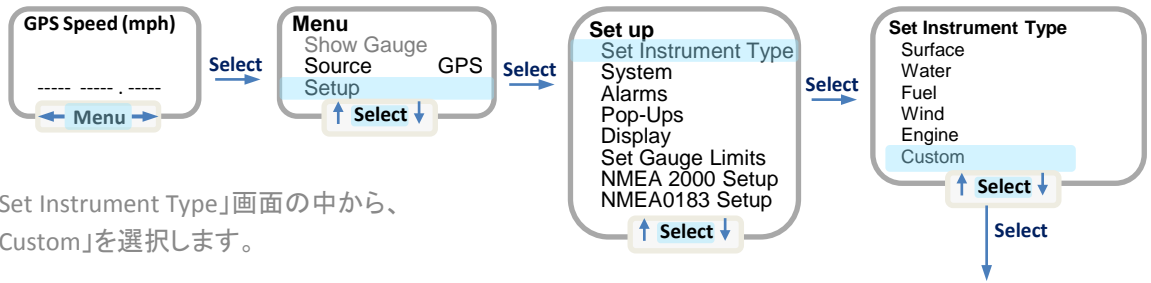
GMI-10は、以下の方法で現在選択しているカテゴリ内に最大10個まで表示画面を追加できます。

- ・ 既に登録されている画面を、現在のカテゴリ内に追加
- ・ 新たに専用画面(カスタム画面)を作成し、現在のカテゴリ内に追加

### (登録されている画面の追加)

1. 次のように、ソフトキーを使って項目を選択していきます。

「Menu」->「Setup」->「Set Instrument Type」->「custom」

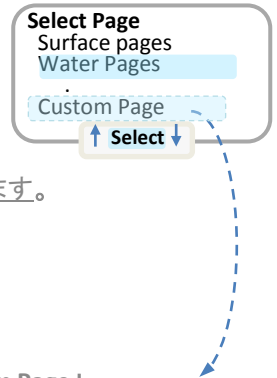


「Set Instrument Type」画面の中から、「Custom」を選択します。

2. 「Select Page」画面で、既に登録されている希望の表示画面を選択します。選択した画面が表示され、追加する場合は「Select」を押します。

3. 「Continue?」画面に“Add Another Page?”が表示され、ソフトキーで「Yes」を押すと現在のカテゴリに表示画面が追加されます。

※画面の追加を中止する場合は、「BACK」キーで元の表示画面に戻ることができます。



### (専用画面の作成・登録)

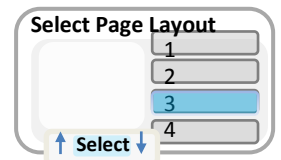
1. 次のように、ソフトキーを使って項目を選択します。

「Menu」->「Setup」->「Set Instrument Type」->「custom」->「Custom Page」

画面右側の数字は、表示画面を何分割するかを選択する項目です。

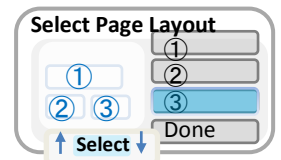
2. カスタマイズ画面に分割表示したい番号(1-4)を選択します。

右図は、「Select Page Layout」画面で3分割の画面を新たに作成する例です。



3. 「Select Page Layout」画面(右図)で、表示画面位置を表す数字と項目番号の対応が示されます。

この対応に従って、表示したい位置とその内容を決めていきます(次節)。

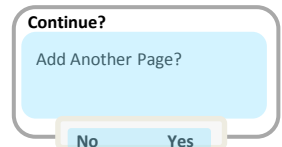
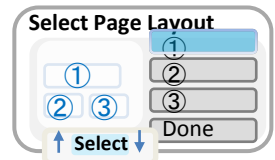
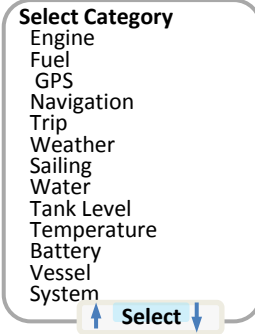


**(カスタム画面の追加)**

1. 前ページ(6ページ)の最後の画面で、分割数に対応する項目を選択して「Select」キーを押すと、「Select Position to Change」の画面に移行します(右図)。
2. 分割した画面の番号に従って、画面右側の“Change①”から順に選択します。
  - ・例えば、“Change①”を選択すると、「Select Category」画面に移行します。ここで、表示したいセンサーのカテゴリー(右図)を選択します。
  - ・更に、選択したカテゴリーの中から目的のセンサーを選択します。
3. 上記操作を分割した画面数分行うと、“Change N”(分割画面番号)の最後に“Done”の項目が追加された画面が現れます。ここで、“Done”を選択すると、別の表示画面を追加するかを選択する“Continue”画面が現れます。“Yes”を選択すると、新しい画面の追加ができます。“No”を選択すると、今作成したカスタム画面を表示する最上位階層に移行します(作成した画面が表示されます)。



分割画面①から順に選択

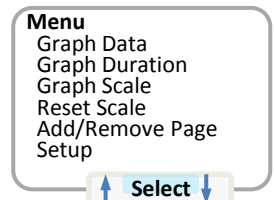


※ 複数のカスタムページ(画面)を登録している場合は、更に新しい画面を追加するとき、

「Menu」->「Add Page」->「Custom Page」->「custom」 (現在登録されている画面が1つの場合)  
という選択順序の中で「Menu」に続く選択では「Add Page」は「Add/Remove Page」->「Add Page」または「Remove Page」の選択動作に変わります。

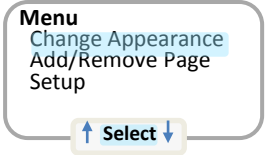
**(グラフ表示画面の追加)**

1. 次のように、ソフトキーを使って項目を選択していきます。  
「Menu」->「Setup」->「Set Instrument Type」->「Custom Page」->「custom」->「Graphs」
2. 「Select Graph Data」画面で、希望するグラフを選択します。「Continue?」画面に“Add Another Page?”が表示され、ソフトキーで「Yes」を押すと現在のカテゴリーに表示画面が追加されます。
3. グラフ画面の登録が完了したら、作成したグラフ表示画面に戻って表示内容やグラフのメモリ間隔などを設定します。「Menu」(メニュー)を選択すると右図の表示画面に移行します。



—  
**(登録した画面の変更)**

1. “Menu(メニュー)”キーを押すと、右図のメニューが表示されます。  
ここで「Change Appearance」を選択します。
2. 「Change Appearance」画面(右図)で、  
“Change Page Layout” または “Change Data Style”  
が選択できます。  
レイアウトの変更等ができます。



※ “Change Data Style”では、数値表示とアナログ表示の切り替えもできます。

3. すべての変更を行った後、“Done”を選択すると完了です。

**(登録した画面の削除)**

- ソフトキーを使って、次の順に項目を選択して削除したい画面を選択します。  
「Menu」->「Add/Remove Page」->「Remove Page」



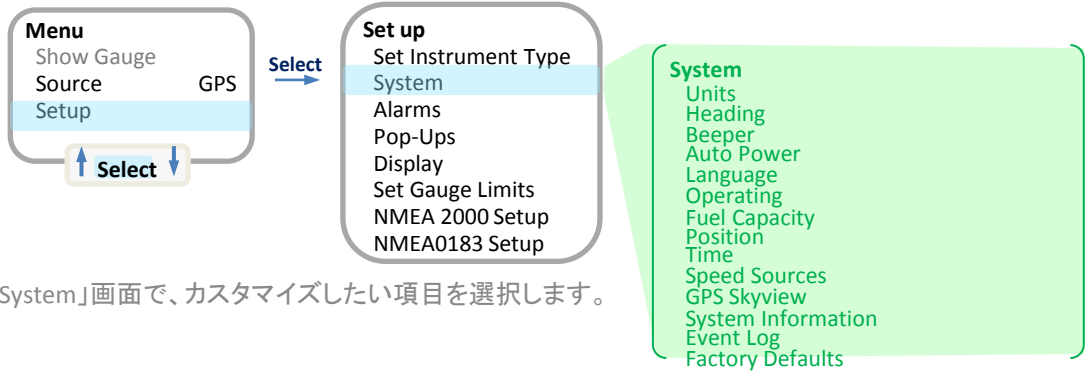
## システム構成等のカスタマズ

以下の説明では、GMI-10Iに接続されている各種センサー類の接続方法や設定方法が適切であることを前提としております。

### (カスタマイズの基本操作)

1. ソフトキーを使って、以下の順に項目を選択します。

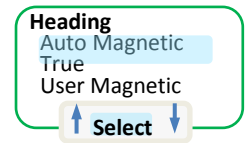
「Menu」->「Setup」->「System」



2. 「System」画面で、カスタマイズしたい項目を選択します。

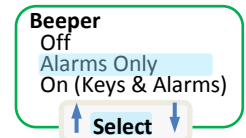
### (方位情報: Heading の選択)

1. 「System」画面上的“Heading”を選択すると、右図の画面に移行します。
2. 「Heading」画面上で、表示する方位の情報源(センサー)を選択します。
  - ・“Auto Magnetic” 磁気コンパスの方位を表示
  - ・“True” GPSセンサーの示す方位
  - ・“User Magnetic” 磁気コンパスの方位に、ここで設定した変位量を加算したものを表示



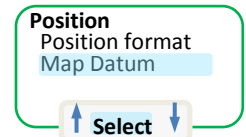
### (アラーム: Alarm の選択)

1. 「System」画面上的“Beeper”を選択すると、右図の画面に移行します。  
“On(keys & Alarms)”は、アラーム時のビーブ音とソフトキー操作時のビーブ音の設定になります。



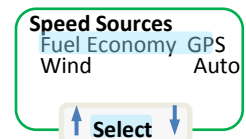
### (位置座標: Position の選択)

1. 「System」画面上的“Position”を選択すると、右図の画面に移行します。
  - ・“Position format” 位置情報の表示形式を設定
  - ・“Map Datum” 座標系を設定



### (燃料消費量計算のための速度センサー選択)

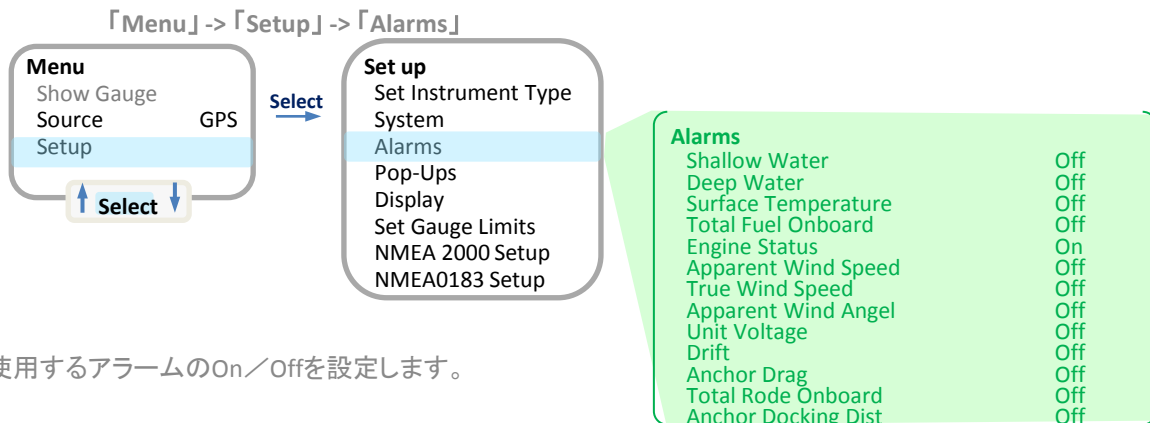
1. 「System」画面上的“Speed sources”を選択すると、右図の画面に移行します。
  - ・“Fuel Economy”または“Wind”のいずれか選択／設定ができます。



## アラームの設定

### カスタマイズの基本操作

1. 次のように、ソフトキーを使って表示された内容から項目を選択します。



2. 使用するアラームのOn/Offを設定します。

- Shallow Water 指定の深さ未満でアラーム鳴動
- Deep Water 設定の深さ以上でアラーム
- Surface Temperature トランスジューサは2° F(1.1° C)以上及び指定温度より低い場合にアラーム
- Low Fuel- 残りの燃料が(GFS10から燃料情報により)指定したレベルに達した場合にアラーム
- Engine Status- エンジンに問題がおきたときアラーム
- Low Apparent Wind Speed 見掛け風のスピードが指定以下の場合にアラーム
- High Apparent Wind Speed 見掛け風のスピードが指定以上の場合アラーム
- Low True Wind Speed 風が指定したスピード以下の場合アラーム
- High True Wind Speed 風が指定したスピード以上の場合アラーム
- High Apparent Wind Angel 見掛け風の角度が指定以上の場合アラーム
- Low Apparent Wind Angel 見掛け風の角度が指定以下の場合アラーム
- Low True Wind Angle 風が指定した角度以下の場合アラーム
- High True Wind angle 風が指定した角度以上の場合アラーム
- Battery Voltage バッテリ電圧が指定レベルに達するとアラーム



## LCD(表示機)の設定

### カスタマイズの基本操作

1. ソフトキーを使って、以下の操作でLCDの設定画面に移行します。

「Menu」->「Setup」->「Display」

2. 以下の設定が可能です

- Color Mode Day(昼)/Night(夜)の表示色の選択
- backlight バックライト(輝度)調整
- Network Sharing ネットワークの共有設定

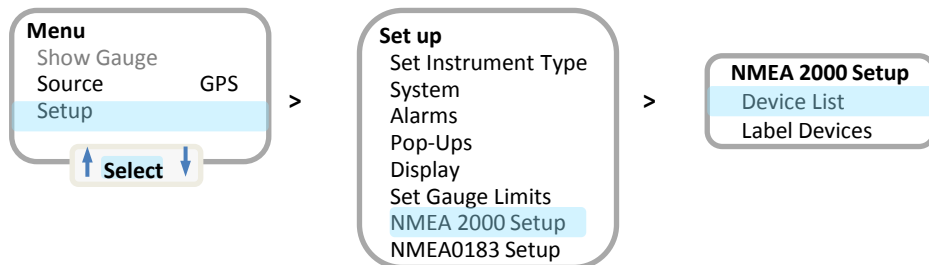
Display	
Color Mode	Day
Backlight	Max
Network Sharing	On

※ 尚、電源ボタンを瞬間的に押すことでも表示機設定画面に移行できます。

## NMEA2000 デバイスの設定変更

NMEA 2000 デバイス情報を表示／または特定のオプション設定の変更ができます。

1. 「Menu」 > 「Setup」 > 「NMEA2000 Devices」順に選択します。
2. 接続されているすべてのNMEA2000デバイスの一覧が表示されます。  
シリアル番号やソフトウェアのバージョンなどの情報を確認することができます。



※ 接続されているセンターによっては、構成情報等の設定が可能です。

## システムアラーム・メッセージ

画面表示中に、以下のアラームやメッセージが表示されることがあります。  
内容に従って適切な処置を行ってください。

“Boat Is Moving Fast Enough to Calibrate” - 水速に関連

規定の速度に達しないため、キャリブレーションできないことを意味します。

“Connection with NMEA2000 Device Lost” - NMEA2000デバイスとの接続が切れたことを意味します。

“Lost Satellite Reception” - GPS衛星信号が受信できないことを意味します。

“NMEA depth is below transducer” - the NMEA depth input is using the DBT sentence which does not include keel offset.

“NMEA 2000 Device Requires Calibration” - NMEA 2000デバイスのキャリブレーションが必要です。

“Simulating operation” - デモ・モードになっていることを意味します。

mode. 動作モードを変更する場合 Menu > Setup > Operating mode > normal順に選択します。

NMEA2000のアドレスを要求することができません。-NMEA 2000ネットワーク上、NMEA2000デバイス間の衝突があります。

水の速度センサーが動作していません。-水の速度キャリブレーションエラー -リキャリブレイトスピードセンサーエラー

## **Garmin社 お問い合わせ**

GMI-10に関するご質問等は、販売店様にお問い合わせください。

また、以下のプロダクト・サポートへの問合せも可能です。

米国 [www.garmin.com/support](http://www.garmin.com/support)または、GarminアメリカTel(913)397-8200、(800)800-1020.

ヨーロッパ Garmin (英国) Tel 0808 2380000.

[www.garmin.com/support](http://www.garmin.com/support)Garmin (ヨーロッパ)サポートセンター Tel+44(0)870.8501241.

**GARMIN®**

**©2009 Garmin Ltd. or its subsidiaries**

**Garmin International, Inc.**

**1200 East 151<sup>st</sup> Street, Olathe, Kansas 66062, USA**

**Garmin(Europe)Ltd.**

**Liberty House, Hounsdown Business Park, Southampton, Hampshire,  
SO40 9LR UK**

**Garmin Corporation**

**No. 68, Jangshu 2<sup>nd</sup> Road, Shijr, Taipei Country, Taiwan**

[www.garmin.com](http://www.garmin.com)

**October 2009 Part Number 190-01015-01 Rev.C Printed in Taiwan**